

写真だより

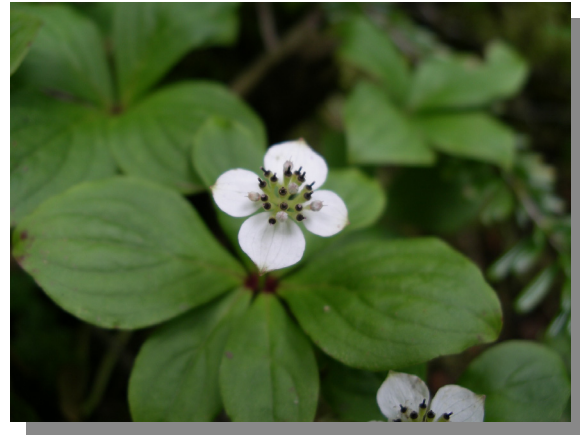


イブキジャコウソウ *Thymus serpyllum*

最初に伊吹山で発見され、葉をもんだりするとよい香りがするので“伊吹麝香草”の名が付けました。初夏に山地や高山で、写真のような紅紫色の花をみることが出来ます。白色の花をつけるものもあるそうです。

ゴゼンタチバナ *Cornus canadensis*

4枚の白いものは花びらではなく総苞片(そうほうへん)という部分です。花は小さく総苞片の中心に集まったひとつひとつです。花のつく茎には6枚の葉が、花のつかない茎には4枚の葉が付きま



アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。

第二十二号は、九月一日の発行を予定しています。特集では『湿地の再生法』として、当社が行ったトンボ類の生息環境の再生事例を紹介します。お楽しみに...

夏の果物といえばスイカですが、同じウリ科の果物にメロンがあります。両者には見た目だけでなく、意外な違いがあります。メロンは果皮の部分が厚く、ここを果肉としていますが、スイカは果皮が薄く種子をつける胎座という部分を果肉として食べています。そのためスイカはメロンと違って、あのめんどろな種が果肉の中に散らばっているのです。

